

運用実績

基準価額

34,875円

前週比

+840円

純資産総額

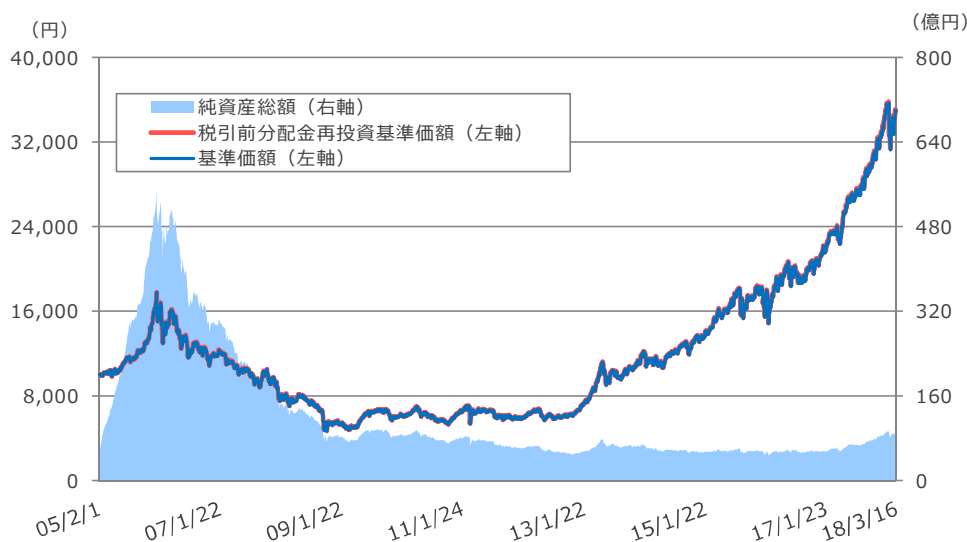
9,191百万円

※基準価額は信託報酬控除後の値です。

※前週比は応答日が祝日等の場合には、前営業日のものととの比較を記載しています。

ファンド設定日：2005年2月1日

基準価額等の推移



※基準価額及び税引前分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後の値です。

※税引前分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものととして算出しています。

資産構成 (単位：百万円)

本ファンド	金額	比率
マザーファンド	9,153	99.6%
現金等	38	0.4%

マザーファンド	金額	比率
国内株式	15,254	96.6%
現金等	544	3.4%

※本ファンドは、中小型成長株・マザーファンドを通じて実質的に株式に投資しています。
 ※現金等には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

期間収益率

設定来	1週間	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年
249.9%	2.5%	7.4%	7.4%	19.7%	48.7%	132.3%	310.7%

※期間収益率は税引前分配金を再投資したものととして算出した税引前分配金再投資基準価額により計算しています。

※応答日が祝日等の場合には、前営業日からの収益率を記載しています。

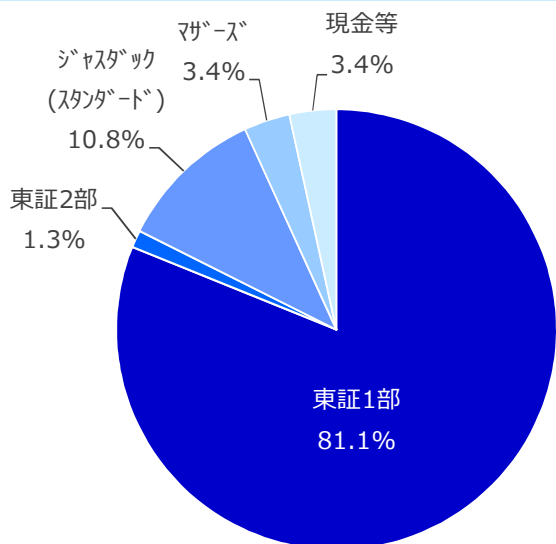
収益分配金 (税引前) 推移

決算期	第9期	第10期	第11期	第12期	第13期	設定来累計
決算日	2014/1/22	2015/1/22	2016/1/22	2017/1/23	2018/1/22	
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	

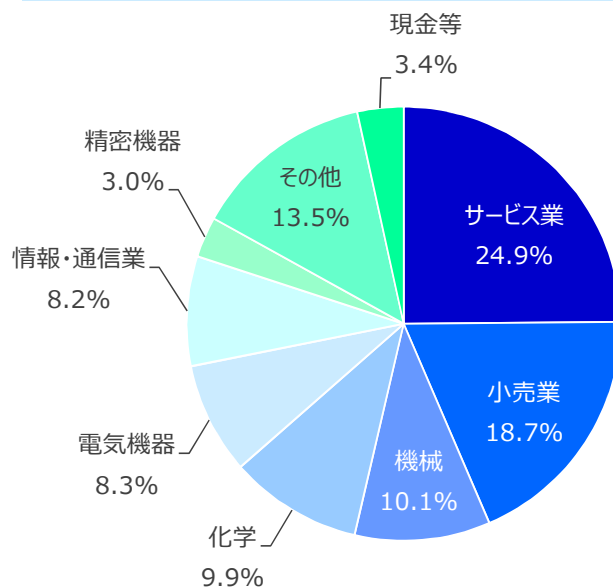
※収益分配金は1口当たりの金額です。

マザーファンドの状況

市場別組入比率



業種別組入比率



組入上位10銘柄

証券コード	銘柄名	市場区分	業種	比率
1 7874	レック	東証1部	化学	3.4%
2 6920	レーザーテック	東証1部	電気機器	3.3%
3 3549	クスリのアオキホールディングス	東証1部	小売業	2.9%
4 3097	物語コーポレーション	東証1部	小売業	2.9%
5 6145	日特エンジニアリング	ジャストック(スタンダード)	機械	2.9%
6 3385	薬王堂	東証1部	小売業	2.8%
7 4927	ポーラ・オルビスホールディングス	東証1部	化学	2.8%
8 2222	寿スピリッツ	東証1部	食料品	2.7%
9 3085	アークランドサービスホールディングス	東証1部	小売業	2.6%
10 2413	エムスリー	東証1部	サービス業	2.6%

組入銘柄数

54銘柄

※組入比率はいずれもマザーファンドの純資産総額比です。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

※本ファンドはファミリーファンド方式で運用を行っているため、マザーファンドの運用状況を表示しています。

投資助言会社からのコメント

活動メモ

銀行名の変更が迫ったあるメガバンクが、ビルの外壁などに設置する“突き出し看板”の半分程度について、行名を変更せずに撤去する方針を固めています。行名変更には数百億円規模の費用が必要になるため、それを抑制するという意図もありますが、店舗の役割がひと昔前とは変わったことの方が要因として大きいようです。突き出し看板は、通行人に店舗の存在を知らせる際に力を発揮しますが、インターネットによる銀行取引や、コンビニエンスストアのATMが普及したことで、このメガバンクの来店客は10年間で約4割が減少しています。店舗の存在を知らせる意義が薄れていることが、突き出し看板の撤去につながっているといえそうです。

インターネットを活用した様々なサービスの普及によって、実店舗のあり方に変化が出てきたと感ずることが増えています。ある中古品リサイクルショップは、集客はインターネット上の広告を主とすることで、買い取り店舗はあえて目立たないビルの空中階（2階以上の階）にしています。空中階の家賃負担が1階に比べて低いこと、中古品の売却をする人は、いくらくらいで売れるかを事前にネットで検索する傾向が強いことを利用した出店戦略となります。また、コンビニエンスストアで売っていない生鮮食品や加工食品を、朝のうちにネットで注文すれば、夜には店頭で受け取れるというサービスを大手コンビニチェーンが始めています。宅配便が届く時間までに帰宅できない人でも、気軽にネットで様々な食材を注文できるサービスです。人手不足で悩む外食企業のなかには、宅配に特化した店舗を出すことも選択肢になります。宅配専門であれば接客係は不要、ネット注文ならば電話対応も不要、さらに宅配代行を利用すれば、調理担当者だけを店舗に配置するという形態すら可能になります。ひと昔前の常識が通用しなくなる変化の大きい昨今こそ、新たな商機を捉えて成長の糧を見出す企業が出てくるものと期待されます。

組入銘柄のご紹介：～パンチ工業（6165）～

今週は、金型用部品の製造・販売で成長を続ける「パンチ工業」をご紹介します。自動車や電子機器などの耐久消費財から、ペットボトルや化粧品の容器といった日用品まで、工業製品を均一かつ大量に速く作るために金型は不可欠です。金型の内部構造は極めて複雑で多種多様な部品が使われています。例えば、金属材料を加工するプレス金型で材料に穴をあけたり、形状を転写したりするパンチや、プラスチック金型から成形品を取り外すために使うエジェクタピンなどで、同社ではこうした部品を開発・製造しています。これらは長さや太さが千差万別で、顧客によって要望が異なるため、汎用性の高い標準品を数多く揃えるとともに、特注品も柔軟に供給することが求められます。同社は1975年の創業以来、生産から販売までを一気通貫で手掛ける体制を整えることによって、顧客の要望に応えるようにしています。特注品であれば、顧客の要望に応じた製品を設計し、材料の調達から加工、検査・出荷までを手掛けています。この体制は国内にとどまらず、1990年から進出している中国でも同様です。早くから中国でも日本並みの体制を整えてきたこともあって、日本の製造業の海外シフトにも遅滞なく対応し、同社の地域別売上高は日本43%、中国48%、アジア9%と、海外売上高が日本を上回るほどです（2017年3月期）。

中長期の事業展開を念頭に置いて、新たな生産体制の構築を進めています。現在は中国工場で作っている日本向けの半加工製品を、2018年中にベトナム工場（2016年10月稼働）に移管し、まずは中国工場における特注品の生産能力向上を図ります。さらに2019年以降は、習熟度が高まるベトナム工場で日本向けの完成品までを作り、日本の工場での特注品の生産能力を向上させます。標準品の製造原価を下げるのと同時に、日本・中国では付加価値の高い特注品の生産能力を高め、さらなる成長を目指しています。

※本ファンドのマザーファンドに助言しているエンジェルジャパン・アセットマネジメントからのコメントです。

※ご紹介する企業はファンドのコンセプトをご理解いただくためのものであり、個別企業の推奨をする目的ではありません。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

本ファンドは、中小型成長株・マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主にわが国の金融商品取引市場に上場する中小型株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして積極的な運用を行います。

ファンドの特色

- マザーファンド受益証券への投資を通じて、現時点では何らかの理由（課題・困難）により割安な株価ではあるものの、将来への成長機会を持つ（＝企業家精神溢れる）、革新的な高成長が期待される企業の株式に厳選投資します。
- エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社より投資に関する助言を受けて運用します。
- 本ファンドの運用は、ファミリーファンド方式で行い、マザーファンドを通じて実質的に日本の株式に投資を行います。

投資リスク

基準価額の変動要因

本ファンドは、マザーファンドを通じて主に国内株式に投資を行います。株式等値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する中小型株式等の価格変動は、株式市場全体の平均に比べて大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。

信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者に帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

主な変動要因

価格変動リスク	一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、国内外の経済・政治情勢、市場環境・需給等を反映して変動します。本ファンドは株式の価格が変動した場合、基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。
流動性リスク	株式を売却あるいは取得しようとする際に、十分な流動性の下での取引を行えず、市場実勢から期待される価格で売買できない可能性があります。この場合、基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。
信用リスク	投資した企業や取引先等の経営・財務状況が悪化するまたは悪化が予想される場合等により、株式の価格が下落した場合には基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください。

その他の留意点

- ・本ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における本ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- ・投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

リスクの管理体制

委託会社では、ファンドのパフォーマンスの分析及び運用リスクの管理をリスク管理関連の各種委員会を設けて行っています。

お申込みメモ

購入単位	1口以上1口単位として販売会社が定める単位とします。詳細は販売会社までお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額となります。
購入代金	原則として、購入申込受付日から起算して5営業日目までに販売会社にお支払いください。
換金単位	最低単位を1口単位として販売会社が定める単位とします。詳細は販売会社までお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額となります。 換金手数料はかかりません。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いいたします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。 ※受付時間は販売会社によって異なることありますのでご注意ください。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口解約には制限を設ける場合があります。
購入・換金 申込受付の中止 及び取消し	金融商品取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及び既に受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消す場合があります。
信託期間	無期限（設定日：平成17年2月1日）
繰上償還	受益権の口数が10万口を下回るようになった場合等には繰上償還となる場合があります。
決算日	毎年1月22日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	年1回決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度及び未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除の適用が可能です。益金不算入制度の適用はありません。 ※税制が改正された場合には、変更となる場合があります。

当資料のご留意点

- 本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。
- 投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。
- 投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。
- お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込金額に3.24%（税抜：3.0%）を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た金額とします。詳細は販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に0.3%を乗じて得た額とします。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に年1.62%（税抜1.5%）を乗じて得た金額とします。運用管理費用（信託報酬）の配分は下記の通りとします。なお、当該報酬は、毎計算期末を含む毎月22日（22日が休業日のときは翌営業日）または信託終了のときファンドから支払われます。	
	運用管理費用（信託報酬）	年1.62 % (税抜：年1.5 %)
	内 委託会社	年1.0152% (税抜：年0.94%)
	販売会社	年0.54 % (税抜：年0.50%)
訳 受託会社	年0.0648% (税抜：年0.06%)	
※委託会社の報酬より、投資顧問（助言）会社への報酬が支払われます。		
その他費用 及び手数料	ファンドの監査費用、有価証券売買時にかかる売買委託手数料、信託事務の処理等に要する諸費用等が信託財産から差引かれます。これらの費用は、監査費用を除き運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。	

投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社、その他関係法人

委託会社	SBI アセットマネジメント株式会社（信託財産の運用指図、投資信託説明書（目論見書）及び運用報告書の作成等を行います。） 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第311号 加入協会/一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社	三井住友信託銀行株式会社（ファンド財産の保管・管理等を行います。）
販売会社	※最終頁をご参照ください。（受益権の募集・販売の取扱い、及びこれらに付随する業務を行います。）

販売会社一覧

金融商品取引業者名		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第44号	○	○		○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第195号	○	○	○	○
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第35号	○			
立花証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第110号	○	○		
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第61号	○	○		
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商) 第20号	○			
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第131号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第165号	○	○	○	
三田証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第175号	○			

■販売会社では、受益権の募集・販売の取扱い、及びこれらに付随する業務を行います。

ファンドのご購入の際は、販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡しますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。